

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年11月14日

【四半期会計期間】 第50期第3四半期(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

【会社名】 高橋カーテンウォール工業株式会社

【英訳名】 TAKAHASHI CURTAIN WALL CORPORATION

【代表者の役職氏名】 取締役社長 高橋 武治

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋室町3丁目2番15号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 影山 信博

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋室町3丁目2番15号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 影山 信博

【縦覧に供する場所】 高橋カーテンウォール工業株式会社大阪支店  
(大阪府大阪市北区中之島三丁目2番18号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第49期 第3四半期 連結累計期間	第50期 第3四半期 連結累計期間	第49期
会計期間		自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日
売上高	(千円)	3,384,309	6,369,877	4,840,180
経常利益	(千円)	96,540	933,969	164,570
四半期(当期)純利益	(千円)	131,187	925,684	183,814
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	172,765	906,823	225,562
純資産額	(千円)	3,207,261	4,198,771	3,260,058
総資産額	(千円)	8,353,022	10,177,025	8,663,380
1株当たり四半期(当期)純利益 金額	(円)	15.06	105.25	21.10
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)		104.40	
自己資本比率	(%)	38.3	41.2	37.6

回次		第49期 第3四半期 連結会計期間	第50期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	2.37	47.76

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第49期第3四半期連結累計期間及び第49期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等) セグメント情報」の「 当第3四半期連結累計期間 (2) 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照下さい。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、円安・株高が進み堅調な内需に支えられて緩やかな景気回復の兆しがみられるものの、輸入物価の上昇や消費税増税前の駆け込み需要の反動による個人消費の低迷懸念等先行き不透明な状況が続いております。

建設業界においては、東京オリンピック向けの建設投資が期待される一方、労働力不足や資材価格上昇の影響で延期されるプロジェクトも出てくるなど、先行きがやや読みにくくなっております。

PCカーテンウォール業界も業界の供給能力を超えた需要は一段落し、今後も多数のプロジェクトが見込まれるものの、中には延期されるものも予想され、先行きは予断を許しません。その中で、当社は業界最大手としての強みを活かし、工場の安定稼働に必要な仕事を確保する所存です。

また、工場の効率化推進、新商品の開発により、収益力の維持向上、マーケットの拡大を図ってゆきます。

当第3四半期連結累計期間における売上高は63億69百万円(前年同四半期比88.2%増)、営業利益9億30百万円(前年同四半期比885.7%増)、経常利益9億33百万円(前年同四半期比867.4%増)、四半期純利益9億25百万円(前年同四半期比605.6%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### PCカーテンウォール事業

大型物件の売上計上に伴い売上は大きく伸びました。また、採算面では適正な受注単価と適正な工場稼働率を維持した上でオペレーション改革を行ったため、良好な収益構造を維持できました。

当セグメントの売上高は59億34百万円(前年同四半期比98.7%増)、セグメント利益は9億39百万円(前年同四半期比725.8%増)となりました。

#### アクア事業

引き続き消防学校の訓練プール等主力である学校やスポーツクラブのプール以外のプラント工事業の拡大を図っております。更に当社オリジナルプール可動床システムの販売促進に注力してゆきます。

当セグメントの売上高は2億57百万円(前年同四半期比6.8%増)、セグメント損失は5百万円(前年同四半期は11百万円のセグメント損失)となりました。

#### その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業及びその他の建設事業であります。

当セグメントの売上高は1億78百万円(前年同四半期比13.3%増)、セグメント損失は5百万円(前年同四半期は24百万円のセグメント利益)となりました。

#### (2) 財政状態の分析

##### 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は101億77百万円と前連結会計年度末と比較して15億13百万円の増加となりました。これは主に受取手形・完成工事未収入金等が9億39百万円及び未成工事支出金が4億87百万円それぞれ増加したことによるものであります。

##### 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は59億78百万円と前連結会計年度末と比較して5億74百万円の増加となりました。これは主に支払手形・工事未払金等が85百万円及び未成工事受入金が6億59百万円それぞれ増加し、短期借入金が1億87百万円減少したことによるものであります。

#### 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は41億98百万円と前連結会計年度末と比較して9億38百万円の増加となりました。これは主に資本金が資本剰余金への振替により44億42百万円減少し、資本剰余金が32億82百万円及び利益剰余金が資本剰余金からの振替と四半期純利益の計上により20億91百万円それぞれ増加したことによるものであります。

#### (3) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

特記事項はありません。

#### (5) 従業員数

##### 連結会社の状況

当第3四半期連結累計期間において、著しい増減はありません。

##### 提出会社の状況

当第3四半期累計期間において、著しい増減はありません。

#### (6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間の状況につきましては、(1)経営成績の分析をご参照下さい。

#### (7) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,500,000
計	36,500,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,553,011	9,553,011	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	9,553,011	9,553,011		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年9月30日		9,553,011		100,000		

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 746,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,735,000	8,735	
単元未満株式	普通株式 72,011		
発行済株式総数	9,553,011		
総株主の議決権		8,735	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式561株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 高橋カーテンウォール 工業株式会社	東京都中央区日本橋 室町3丁目2番15号	746,000		746,000	7.80
計		746,000		746,000	7.80

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人により四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	187,434	292,016
受取手形・完成工事未収入金等	745,154	1,684,379
未成工事支出金	2,942,484	3,430,113
その他のたな卸資産	56,690	79,656
その他	51,717	53,255
流動資産合計	3,983,481	5,539,421
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	705,872	677,348
土地	1,405,294	1,396,083
その他(純額)	105,315	143,401
有形固定資産合計	2,216,482	2,216,833
無形固定資産		
投資その他の資産	98,545	94,390
投資有価証券	221,014	200,997
投資不動産(純額)	699,678	631,228
保険積立金	695,573	725,251
その他	795,471	815,917
貸倒引当金	46,867	47,017
投資その他の資産合計	2,364,869	2,326,379
固定資産合計	4,679,898	4,637,603
資産合計	8,663,380	10,177,025
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,015,536	1,100,637
短期借入金	2,108,390	1,920,431
1年内償還予定の社債	241,500	155,000
未成工事受入金	682,493	1,341,974
引当金	32,860	70,076
その他	137,446	105,626
流動負債合計	4,218,226	4,693,746
固定負債		
社債	182,500	247,500
長期借入金	440,329	486,849
役員退職慰労引当金	312,634	327,585
その他	249,631	222,573
固定負債合計	1,185,095	1,284,508
負債合計	5,403,321	5,978,254



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,542,968	100,000
資本剰余金	-	3,282,563
利益剰余金	1,184,051	907,723
自己株式	154,035	122,903
株主資本合計	3,204,881	4,167,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,381	30,519
その他の包括利益累計額合計	49,381	30,519
新株予約権	5,796	868
純資産合計	3,260,058	4,198,771
負債純資産合計	8,663,380	10,177,025

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
完成工事高	3,384,309	6,369,877
完成工事原価	2,873,682	4,924,812
完成工事総利益	510,626	1,445,064
販売費及び一般管理費	416,278	515,044
営業利益	94,348	930,019
営業外収益		
受取利息	568	417
受取配当金	1,660	1,743
投資有価証券売却益	492	8,154
保険解約返戻金	10,364	630
投資不動産賃貸料	69,963	29,038
鉄屑売却収入	16,701	20,758
その他	20,833	19,850
営業外収益合計	120,585	80,592
営業外費用		
支払利息	53,012	39,995
投資有価証券評価損	815	-
不動産賃貸費用	48,999	11,238
その他	15,567	25,409
営業外費用合計	118,394	76,643
経常利益	96,540	933,969
特別利益		
固定資産売却益	161,883	-
受取和解金	-	12,269
特別利益合計	161,883	12,269
特別損失		
固定資産売却損	108,911	5,869
固定資産除却損	2,915	5,928
特別損失合計	111,826	11,797
税金等調整前四半期純利益	146,596	934,442
法人税、住民税及び事業税	7,713	7,325
法人税等調整額	7,695	1,431
法人税等合計	15,409	8,757
少数株主損益調整前四半期純利益	131,187	925,684
四半期純利益	131,187	925,684

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	131,187	925,684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,578	18,861
その他の包括利益合計	41,578	18,861
四半期包括利益	172,765	906,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172,765	906,823

## 【注記事項】

(会計方針の変更等)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	
(会計上の見積りの変更)	
連結子会社(株)タカハシテクノ所有の事業用定期借地権上の建物については、従来、他の減価償却資産と同様法人税法の規定に基づく耐用年数により償却を行っていましたが、第1四半期連結会計期間より借地契約期間で償却を行うことといたしました。これは、建物等の耐用年数を当該借地契約期間とすることで、より合理的な期間損益計算を行い、財政状態の健全化を図るためのものであります。	
この結果、従来の方法によった場合と比較して、営業利益、経常利益がそれぞれ6,660千円減少しております。	

(四半期連結貸借対照表関係)

受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
	197,162千円	128,333千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
減価償却費	109,605千円	96,063千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 配当金支払額

該当事項はありません

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 配当金支払額

該当事項はありません。

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動

平成26年3月27日開催の当社第49期定時株主総会決議に基づき、平成26年5月1日付で資本金4,442,968千円を減少し、その他資本剰余金に振替えるとともに、その他資本剰余金1,166,089千円をその他利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が4,442,968千円減少し、その他資本剰余金が3,276,878千円及びその他利益剰余金が1,166,089千円それぞれ増加しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,985,932	240,825	3,226,757	157,552	3,384,309		3,384,309
セグメント間の内部売上高 又は振替高				39,119	39,119	39,119	
計	2,985,932	240,825	3,226,757	196,671	3,423,429	39,119	3,384,309
セグメント利益又はセグメント損失( )	113,763	11,826	101,937	24,139	126,077	31,728	94,348

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失( )の調整額 31,728千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,934,088	257,278	6,191,366	178,510	6,369,877		6,369,877
セグメント間の内部売上高 又は振替高				3,709	3,709	3,709	
計	5,934,088	257,278	6,191,366	182,220	6,373,587	3,709	6,369,877
セグメント利益又はセグメント損失( )	939,507	5,727	933,779	5,559	928,219	1,800	930,019

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失( )の調整額1,800千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、報告セグメントに記載していた「システム収納家具事業」及び「建設事業」は、重要性が低下したため「その他」に含めております。

この変更に伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の区分により作成しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	15円06銭	105円25銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	131,187	925,684
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	131,187	925,684
普通株式の期中平均株式数(株)	8,711,023	8,795,316
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		104円40銭
(算定上の基礎)		
普通株式増加数(株)		71,246
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月13日

高橋カーテンウォール工業株式会社  
取締役会 御中

### 八重洲監査法人

代表社員 業務執行社員	公認会計士	原	田	一	雄	印
代表社員 業務執行社員	公認会計士	三	井	智	宇	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高橋カーテンウォール工業株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高橋カーテンウォール工業株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。